

ゴミ 30 レポート

第44号 2007年3月31日 発行

編集と発行 530運動環境協議会
〔豊橋市今橋町1番地 豊橋市役所環境政策課内 電話(0532)51-2414〕
〔URL <http://www.530.toyohashi.aichi.jp> E-mail 530@city.toyohashi.lg.jp〕



(左上：ハルリンドウ、右下：ミカワバイケイソウ)

豊橋自然歩道～葦毛湿原

530運動発祥の地豊橋。その生まれた場所は豊橋市の東部丘陵地にある豊橋市自然歩道でした。約31年前この自然歩道には多くの人が訪れ同時に多くのごみが捨てられるようになってしまいました。その時「自分のごみは自分で持ち帰る」ことが登山家のモラルであり、社会全般に通じることだと考えた豊橋山岳会の夏目久男さんが「自分のゴミは自分で持ちかえりましょう」を合言葉に530運動を提唱しました。こうして530運動は生まれました。それから31年間私たちはごみを拾い続けてきました。自然歩道には今も「自分のゴミは自分で持ちかえりましょう」と書かれた530看板が残され、31年前と同じメッセージを発し続けています。そして今この自然歩道や葦毛湿原には多くの人が訪れますがごみはほとんど落ちていません。

530の目指したものは着実に根付いてきているのではないのでしょうか。

530会員募集のお知らせ

530運動環境協議会は、環境美化活動から省資源・省エネルギー、循環型社会の推進、環境教育など、今後も様々な取り組みを行い、ゴミゼロ社会を目指します。本協議会では活動に参加・協力していただく会員を募集いたしております。法人・団体会員は1口1万円、個人会員は1口500円、いずれも年間費で1口以上です。申し込みは協議会事務局窓口のほか、ホームページからできます。

目次

●環境美化活動で表彰をうけました	2
●地域のふれあいと環境への思いやり	2
●省エネライフを始めよう	2
●No!包装キャンペーン	3
●会員紹介コーナー	4
●編集後記	4



環境美化活動で表彰を受けました

先人が築いた豊川用水をはじめとする疎水(造られた水路や水路網)への関心、今後のあり方をテーマにして、「豊川用水フォーラム」が12月16日(土)に豊橋市公会堂で開催されました。

豊川用水は、昭和43年に全面通水され東三河地域の農業をはじめ産業、生活が大きく変わりました。また、



牟呂用水は、明治21年に神野新田地区等の水田のための農業用水として作られ、水道用水等にも利用されています。

豊川用水関連施設の環境美化活動として石巻校区が、また、牟呂用水に関連した長年の環境美化活動に対して賀茂校区、青陵中学校区青少年健全育成会、中部中学校、羽田中学校区青少年健全育成会、牟呂中学校区青少年健全育成会が表彰されました。

地域のふれあいと環境への思いやり

地域とのふれあいと、環境にも関心を深めていただくものとして、平成19年2月17日(土)に、大崎小学校区子ども会の児童、保護者、社員の参加で「第8回中部セキスイ工業自然塾」を開催し、明海町大崎5区の干潟で野鳥観察と海岸清掃を行いました。

野鳥観察では、干潟に“マガモ”、“オナガガモ”、“キンクロハジロ”などが観察できました。

海岸清掃では、暖かい日が続き北風で打ち寄せられるごみが例年より少ないように感じましたがプラスチックやペットボトル等が集められました。

「自然塾」を通じて自然環境への関心とともに、身近な清掃活動が野鳥の保護、私たち生活環境への思いやりの気持ちがお子さんたちの心に芽生えることができればと考えています。



省エネライフを始めよう

今年の冬はなかなか雪も積もらず、気象庁は今冬(12月～2月)の全国の平気気温は例年よりも1.52度上回る暖冬と発表しました。これは1899年以降1位タイ(これまでの1位は1949年)の高さで、地球温暖化も原因の一つであると発表しました。これは地球温暖化による気候変動の影響が身近に感じられるところまで来ているということではないでしょうか。

南太平洋の島国ツバル(人口9,600人)では政府が国外移住計画をたて、オーストラリアやニュージーランドといった国への移住を進めようとしています。もともと海拔が低いツバルでは海面が上昇し、空港の滑走路にも水が滲みだし、この先生活することが難しくなっているからです。この海面上昇が地球上に住む私たちの排出したCO²など温室効果ガスの影響によるものだとなればCO²の削減は全世界の急務の課題と言えます。

日本の出すCO²の排出量はアメリカ、中国、ロシアに次いで世界第4位です。私たち一人一人はほんの小さなことでもできることから始めなければなりません。

2月1日早朝、豊橋駅ペDESTリアンデッキで省エネルギー月間街頭啓発としてフリースのひざ掛け約1,000枚を配布しました。このひざ掛けで少しでも多くの方が暖房の温度を控え、省エネを実践することを願っています。



ツバルの首都(浸水時) 全国地球温暖化防止活動推進センターホームページより (<http://www.jccca.org>) Photo Credit: Masaaki Nakajima

No! 包装キャンペーンを実施しました

530運動では2月を「No! 包装キャンペーン」月間として、買物時における過剰包装やレジ袋の削減を呼び掛けてきました。

私達の周りには詰め替え用の製品も増え、店頭で「レジ袋は必要ですか」と尋ねられることも多くなってきました。豊橋市内でも多くのお店がこういった取り組みを行うようになってきていますが、過剰包装の削減には事業者の協力だけでなく積極的に簡易包装や詰め替えの製品を選んだり、マイバッグを持参するなど消費者の取り組みも必要になります。こうした消費者や事業者の意識を変えてゆくきっかけとしてキャンペーンを実施しました。

今回のキャンペーンでは、ごみ減量のアイデアを募集する「ごみにしない工夫アイデアコンクール」と、各家庭で省エネに取り組んでいただく「CO²を減らそう! 省エネ実施キャンペーン」を行いました。アイデア募集には容器包装の削減のアイデア22を含んだ116のアイデアをいただきました。省エネ実施では110の家庭の方に参加していただき、そのうち72%の家庭が簡易包装の物を選び、マイバッグを持参していると答えました。

アイデア募集部門では各賞を決定し、優秀賞には省エネ電気ポットをはじめ応募者全員にレジ袋不要のトートバッグをお贈りしました。省エネ実施部門では応募者抽選の上100名様に省エネエコタップをお贈りしました。各賞入賞者作品、集計結果は下記のとおりです。



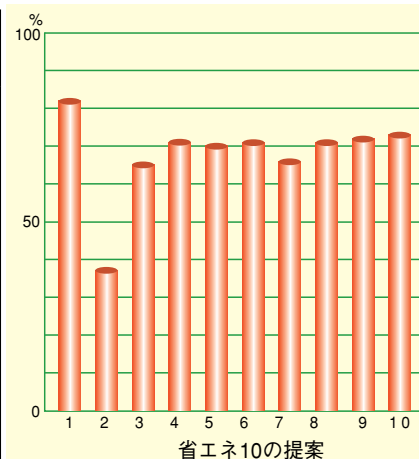
アイデア部門（応募116点）

優秀賞	伊藤 達哉	食べ残しを冷蔵庫で保存する時ふたのあるインスタントコーヒーなどの空きビンを使い、ラップを使わないようにする。
〃	神谷 紀江	たまごの殻をくだし水筒の中に入れてふってゆすぎ、汚れをおとしに使う。
入 選	後藤 尚美	側面を切りローソクを入れた空缶の上部に天日干しして乾燥させたみかんの皮をのせ、いぶしてみかんの皮の蚊取線香にする。
〃	平川 倫己	ミカンやグレープフルーツの皮を切り、アルコールと一緒にビンに入れ汚れ落としの洗剤を作る。
〃	近藤 芳城	ストッキングのつま先を切り、水切りネットにし、それ以外の部分を靴磨きとして使う。
〃	中田 健介	使い終わったラップの箱の刃を、セロテープやガムテープに巻いてテープカッターとして使う。
〃	岩見 典子	マーガリンの容器を食品の冷凍保存に使い、食べるときはそのまま電子レンジにかける。
佳 作	杉浦 椎菜	スーパーマーケットなどでもらった袋をきれいにたたんでとっておき、物を入れたり次の買物に再使用したりする。
〃	鈴木 清花	ビデオテープのケースを切り、料理で使うヘラを作り、鍋に残った汚れや味噌をとるのに使う。
〃	中田 理乃	はかなくなったソックスをいすの足に履かせ、傷を防いだりほり取る。
〃	木村 月代	クリーニングのビニールカバーを切ってひもにし、新聞紙等をしばるのに使う。
〃	酒井 翔平	自動販売機で飲み物を買わずに、水筒を持っていきごみを減らす。
〃	中野 竜一	持ち帰りの餃子を買うとき皿を持って買いに行く。
〃	木村 月代	ペットボトルに水を入れ入浴後の風呂桶に入れておき、温まったらその水を食器洗いや湯沸し等に使用したり緊急時の飲み水にする。
〃	木村 純子	卵のパックを製氷皿にする。
〃	近藤三恵子	使えなくなった厚手のタイツを2cmほどのひも状に切り、格子状にむすんで、自転車カゴの防犯ネットにする。
〃	兵頭 浩子	使えなくなったストッキングを排水口のところにひっかけて、目の細かい水切りネットとして使う。

省エネ実施部門（応募110家庭）

家庭でできる省エネ10の提案 (3人家族が一年間実施した場合 CO ² 削減量/節約額; 環境省より)	実施率
1. 冷房の温度を1℃高く、暖房の温度を1℃低く設定すると (31kg/2,000円)	82%
2. 通勤などで週2日往復8kmの車の運転をやめると (185kg/8,000円)	37%
3. 1日5分間のアイドリングストップを行うと (39kg/2,000円)	65%
4. 家電製品を使わない時にコンセントを抜くと (87kg/6,000円)	71%
5. シャワーを1人1日1分減らすと (65kg/4,000円)	70%
6. 風呂の残り湯を洗濯に使いまわすと (17kg/5,000円)	71%
7. ジャーやポットの保温を止めると (31kg/2,000円)	66%
8. 家族団らんし、暖房と照明の利用を20%削減すると (240kg/11,000円)	71%
9. 買い物袋を持ち歩き、省包装のものを選ぶと (58kg)	72%
10. トイレ使用後に電気便座のふたを閉めると (18kg/1,100円)	73%

実施率 = 実施家庭数 ÷ 参加家庭数 × 100



会員紹介コーナー

今回は事業所で地域清掃や独自の取り組みを行っている2つの団体を紹介します。

「住みたくなるまち“豊橋”を目指して」

豊橋鉄道株式会社

530発祥の地豊橋は、昭和50年から約30年間、全国の先陣をきって地域の環境問題への取り組みに大きな流れをつくりだしてきたと言っても過言ではないと思います。豊橋市内では530運動を通じ、各種の団体や市民の皆さんがきめ細かな取り組みを行い、きれいな街づくりに努力しています。

そのような取り組みに、当社も参画させていただきながら活動を進めています。

当社は、東三河一円を主なエリアとし、地域の皆様方に育てていただきながら運輸事業(鉄道・軌道・バス)を営んでいます。お客様に気持ちよく利用していただくために、駅・電停・バス停・営業施設やその周辺においてはもちろんのこと、地域への貢献として幅広く地域の環境美化に取り組んでゆかなければならないと考えています。

当社の活動内容としましては、年4回(3・5・9・12月)を美化運動の強化月間と位置づけ、全社員、班ごとに分かれて一斉に施設及び周辺の清掃を行っています。また、社員全員がポリ袋(タテ20cm×ヨコ30cm)を携帯し、日常業務の中や出・退社の道路上におけるタバコのポイ捨て、空き缶等のごみ収集に努めています。特に最近では、このような活動を行うことによって全社員のゴミに対する意識は大変深まってまいりました。

環境問題は地球的規模で行わなければならない問題ですが、こうした小さな取り組みから一つ一つ活動の輪を広げていくことが大切であり、私どもの生活の一部としてこの活動を継続してまいりたいと考えています。そして、「このまちに住んでよかった」

「いつまでも住みたいまち」と感じる街づくりを目指してまいります。



「530は自分のお店から」

株式会社マッターホーン

当社は、豊橋市内に3店舗ある洋菓子店の「マッターホーン」です。

530運動は、「まずはできることから」をモットーに取り組んでいます。

毎日店舗周りを中心に清掃すること、分別のルールを守ってごみの分別をきちんとすること。路上にはタバコの吸殻や空き缶などが捨てられていますので開店前の掃除は欠かせません。ごく当たり前で基本的なことですが、もっとも大切なことだと思っています。

ごみの量を減らすことは簡単なことではありませんが、リサイクルされずに処分されるものを少しでも減らすようにしています。以前からダンボールやビン・缶等のリサイクル率の高いものは、専用の業者に処理を委託していますし、生ごみとして処理される卵の殻を有効利用するECOバランスにも協力しています。

企業に環境問題への対策が迫られる昨今、当社でも容器包装リサイクル法の施行にあわせ、従来に比べごみの出ないように包装の簡素化を進めています。

今後も「ごみ減量推進店」として、お客様や地域の皆様のご協力・ご理解を頂きながら、530運動に積極的に取り組んでいきたいと考えています。



編集後記

530運動実践活動で私たちはごみを拾いますが、宇宙にもごみが落ちてくる(飛んでいる?)ってご存知ですか。ごみの正体は人間が打ち上げたロケットや人工衛星などの破片で、スペースデブリ(宇宙ごみ)と呼ばれています。1cm以下の小さなものを含めると数万個有ると言われ、地球の周りを回っています。中には秒速8kmで回っているものもあり、たった1cmのものでも衝突すれば宇宙ステーションの船体に穴が空いてしまうためこれ以上増やさないように研究が進められています。この宇宙ごみはごみ同士が高速で衝突することで連鎖して数が増えていきます。

私達の住んでいる地球上ではごみ同士がぶつかり、増えることはありませんが、誰かがごみを捨てると他の誰かも捨てて増えていきます。落ちているごみを拾うことはこの連鎖を止めることになるでしょう。でも本当に大切なのは捨てないように呼び掛けてゆくことです。

“拾うことで捨てない心を育む”このシンプルな活動を私達は続けています。